

下呂更生保護 サポートセンター だより

第 71 号

〒509-2517 下呂市萩原町萩原 1359 番地 1
TEL/FAX 0576-20-4216
E-mail gerohogoshikai@ccn.aitai.ne.jp



「退任に際して」

令和 7 年度 第 3 回定例研修会

「報告書の書き方と面接につ いて」(講師 東松美香子) 齋藤 直志

今回は、「報告書の書き方」についての講習を受講いたしました。報告書につきましては、初めて対象者を持たせて頂いた時のことを思い出します。何を書いたらいいのかわからず、岐阜での講習時に頂いた本を出してきて四苦八苦しながら書いたことが思い出されます。当時は手書きの報告書しかなく失敗しないように、誤字が無いように下書きをしてから書類を作成しました。今では、パソコン入力で当時より簡単に作成できます。私たちが作成した報告書により色々なことが決定していく事を知り、感じたことを有りのままに偽りの無い内容で作成なくてはいけないと思いしらされました。また、面接の重要性も改めて感じました。

送別会においては、青木さん・名和さんが退任されましたがこれからもご尽力賜りたく存じます。お疲れさまでした。また、新人の保護司の方も 2 名入られましたが、情報交換会に欠席されましたのでこれから色々お話させていただき顔を覚えていきたいと思えます。これからもよろしくお願いいたします。



お陰さまで退任を迎えることが出来ました。

10 年間勤めることができたのは、ひとえに保護司会、観察所、市社会福祉関係者の皆様の支えとご指導の賜物と感謝しております。私は環境調整が 1 件だけで、多くの保護司の方が、ご苦労されている対象者を持つことはありませんでした。

私が 43 年間過ごしてきた物作りの世界では、目標を立て計画を作り正しい作業で段階を追い進めれば目標が達成できました。一方、対象者を持たれた保護司の方のお話によると「対象者の更生」という目標の為、「面接」を行う作業を月 2 回で進めても「対象者の矯正はなかなか難しい」と言うお話を沢山伺いました。物作りの世界とは違い、人と人の関わりは簡単ではなく奥の深い仕事です。そのため、本人や家族への面接で直ぐには結果に結びつかないため、成果が現れ難く達成感に繋がらないので、保護司活動の難しさを感じるとともに、地道に面接・訪問の奉仕されている姿に畏敬の念を抱いております。研修会・部会・他打合せ後の情報交換の時間は私にとって放課後のような大変楽しい時間でした。

保護司の皆さんのお話は、多岐に渡り専門的な知識のある方々ばかりでしたので、大変興味深く新鮮でした。学ぶところが多く、印象に残っております。最後に、下呂保護司会の皆様が今後も益々ご健勝でご活躍されます事を祈念致しております。長い間、お世話になりました。

名和英一



10 月末をもって保護司を退任致しました。

16 年間の保護司活動でありましたが、この間思うように対処できなかった事案もありましたが、保護司会活動では研修旅行、社明運動など楽しく活動できました。

私にとって下呂保護司会の皆さまと交流できたことが一番の財産となりました。本当にありがとうございました。

今後の下呂保護司会のご発展をお祈りいたします。

青木正範



1月予定表（サポートセンター当番）

月	日	曜日	行 事 名	午前(9:00～12:00)		午後(12:00～15:00)	
1	1	木	元日				
	2	金					
	3	土					
	4	日					
	5	月					
	6	火	社明運動作文コンテスト 表彰式(岐阜・会長)				
	7	水					
	8	木					
	9	金					
	10	土					
	11	日					
	12	月	成人の日				
	13	火					
	14	水	広報委員会	都築保彦 永田光由	可児正充 柏木寛隆	大江真人	山中麦子
	15	木					
	16	金		高井範和	山中麦子	高橋典子 垣内新子	山中麦子
	17	土					
	18	日					
	19	月	社会福祉課と打合せ 13:30～	山中麦子		永田光由 大江真人	山中麦子
	20	火					
	21	水		永田光由	高橋典子	都築保彦	
	22	木					
	23	金		高橋典子	山中麦子	山中麦子	
	24	土					
	25	日					
	26	月		永田光由	山中麦子	山中麦子	
	27	火					
	28	水		高井範和		高井範和	各務敏文
	29	木					
	30	金	広報委員会	都築保彦 永田光由	可児正充 柏木寛隆	山中麦子	
	31	土					

本年は広報活動にご協力いただきありがとうございました。
 来年も皆さまには原稿依頼等お願いいたします。
 良いお年をお迎えください。

広報委員一同